本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
全国婦人新聞社
〒160本社東京都新宿区西新宿
3-7-28　宝幸西新宿ビル
電　話　03(343)1846(代)
ＦＡＸ　03(348)1890
振替口座　東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年　4,500円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

《品質本位》のうすくち
東 うすくち ヒガシマル醤油
＊ヒガシマル醤油株式会社

〝もう少しよい日本にしてね〟

高齢化社会を豊かに生きるために

福祉型経済目指して
信頼できる政治を作ろう

土井たか子社会党委員長に政策を提言し、もう少しよい日本にしてほしい、という集会が三月十八日（土）に東京・銀座のヤマハホールで開催された。題して「フォーラム　高齢化社会を豊かに生きるために」。

この日、午前中は「福祉型経済と高齢化社会」と題する横浜国大教授・岸本重陳氏の講演、俳優・高森和子さんの「老いを見つめて」の話があり、午後はシンポジウム「福祉型経済と高齢化社会サービス」があった。土井たか子委員長も、〝自分への提言〟とあって、忙しい日程をきいて出席、熱心にメモをとりつづけていた。この日の催しから、シンポジウムの模様を報告しよう。

「本日の提言を生かせる党にしたい」と決意を語る土井委員長

シンポジウムのパネラーは、暉峻淑子・埼玉大学教授、岡本祐三・阪南中央病院内科医長、大熊一夫・朝日新聞『アエラ』スタッフライター、石毛鉄子・飯田女子短大助教授、コーディネーター・樋口恵子さん。

まずパネラーの報告で、暉峻さんは、現在の日本の福祉のおそるべき現実を語る。札幌の母子家庭の母親餓死事件とか、テレビ等で話題になった荒川区の福祉事務所の応待とか、問題が続発しているが、これはもとはといえば厚生省が生活保護の国庫補助を切ったことから始まった。三年前十分の八にカット、以後一割ずつカットし、ことし十分の五まで切り下げ、これを永久化しようとしている。補助を切られた地方自治体は適用を厳格にせざるをえない。

一九八一年、厚生省は通達一二三号を出し、生保世帯を平分にへらせといった。これを忠実に実行したのが荒川区で、本当に生保世帯を半分にしてしまった。

水際作戦といって、〝生保申請の前に追いかえし〟してしまう。

暉峻淑子さん

活保護とは、本来なぜ貧困になったか理由を問わず、無条件に人間を助けるものである。その精神が忘れ去られている。

国民健保の国庫補助も切られているので、国保の料金も非常に高くなり、滞納者がふえている。滞納者は健保証をとりあげられ証明書を渡される。証明書があれば医者に行けるというが、全額を現金で払い、あとで返してもらうというシステムだ。保険料の金も払えない人が、医療費をたてかえられるはずがない。実際に、金沢の母子世帯の母が医者に行けず死んでいる。

岡本祐三さん

広島と福岡で福祉事務所のケースワーカーにアンケートをとったところ、八割の人が別の職場に転職したいと答えた。〝監査〟のための膨大な書類作りにおわれ、ヘトヘトである。何よりも弱者を助けるはずの職業なのに、現実には〝いじめ〟ている矛盾にたえられないと答えている。これはショッキングな事実だ。

社会保障費用をふやすことは、経済の成長にマイナスしない。人間の社会で一番大切なのは連帯である。社会保障をけずるかけずらぬかは政治家の〝哲学〟にかかっている。

岡本祐三氏は、寝たり切り老人の訪問介護の現実をスライドで見せながら、「寝たきり老人ではなくて、〝寝かせきり老人〟。寝たきり老人はケアの少なさがつくった」と断言する。

大熊氏の提言もスライドで実像つき。日本の老人病棟の悲しい現状。〝鉄格子のはまった病院、おむつを外されると困ると身体をしばられ、寝返りもできない老人たち……。それと対照的なデンマークのケアつき住宅。北欧では〝寝たきり老人〟がほとんどいない。いい介護をすれば寝たきりにならないという。日本とデンマークの、ともに人口約二万人、六十五歳以上の高齢者二千人の町の比較。訪問ヘルパー＝デンマーク百十人、日本三人。訪問看護婦＝デンマーク十五・五人（日本一人）、老人ホーム職員）、特養老人ホーム＝デンマーク個室百二十六室、日本百三十床（ほとんど雑居、入居者中町民は三分の一弱）。

大熊一夫さん

大熊氏は「まずこの現状を認識すること。改革は認識から」という。

石毛さんは、地元の長野（百二十市町村）の例をひき、家庭奉仕員（ホームヘルパー）零の町村が八つ、一人のところが二十三。四分の一が一人以下。これでは在宅福祉などできないという。イギリスのガイドライン（北欧よりも下）並でも、ヘルパーは十五万五千人いるのに日本の現状は一万七千人しかない。また、福祉を地方で決める自主性は零である。もっと地方に権限をもたせるべきだ。緊急にやるべきことは、市民の側に〝緊急社会サービスプラン〟をつくることと訴えた。

石毛鉄子さん

このあと会場から意見続出。暉峻さんの例にもとりあげられた東京荒川区の人。生保しめつけのおかげで六十二年度予算五六〇億のうち三〇億もあまってしまった。うち民生費が二〇億とか。福祉制度の根幹である生活保護制度がゆらいでいる。福祉はどうあるべきか考え直されねば。

住宅の不備を訴える声。六十五歳定年にするなら六十五歳まで働ける社会にしてほしい。税金は高くていい、払ったものがかえってくれば――。

とにかく一致していたのは、日本の現状は福祉などとよべない状態であること。財政を福祉型にするため、社会党はがんばれということ。

今回だけでなく、各地で組織的にこんな会を開けという意見も出た。

こうした意見をふまえてのまとめとして、石毛さんは「現在では、国が全部を決めて下におろし、それを地方自治体が唯々諾々とやる。もっと自治体の役割、権限を多くしないとダメ。

全国民が人権感覚をもつよう、社会党は国レベルでメスを入れてほしい」。大熊さんは「デンマーク並みの福祉をすると毎年三兆五千億円いる。大金のように思えるが、松下氏と堤義明氏の資産をあわせると三兆五千億円、二人の資産でまかなえるほどの額だ。日本は〝まず弱肉強食、反福祉の方に向っている。この現実を放っておいていいのか」

岡本さんは、統計のスライドを見せながら日本の高齢者の自殺が多いことを指摘、「実は老人の自殺率の高さは戦前からで、家族制度が老人を守らなかったことがはっきりしている。デンマークの福祉は一九六〇年から三十年ほどでできた。金の余っている日本でできないことはない」

暉峻さんは、防衛費のみ突出の日本の行き方を批判、また、今の社会保障も縮少し、民間の保険にもって行く〝アメリカ型〟福祉にした政府の意向を明らかにし、「皆さんの意見はまだ甘すぎるくらいよ。現在の政策学〟にかかっている。

樋口恵子さん

岡本祐三氏は、寝たきり老人〝。寝たきり老人はケアの少なさがつくった」と断言する。

大熊氏の提言もスライドで実像つき。日本の老人病棟の悲しい現状。〝鉄格子のはまった病院、おむつを外されると困ると身体をしばられ、寝返りもできない老人たち……。それと対照的なデンマークのケアつき住宅。北欧では〝寝たきり老人〟がほとんどいない。いい介護をすれば寝たきりにならないという。日本とデンマークの、ともに人口約二万人、六十五歳以上の高齢者二千人の町の比較。訪問ヘルパー＝デンマーク百十人、日本三人。訪問看護婦＝デンマーク十五・五人（日本一人）、老人ホーム職員）、特養老人ホーム＝デンマーク個室百二十六室、日本百三十床（ほとんど雑居、入居者中町民は三分の一弱）。

大熊氏は「まずこの現状を認識すること。改革は認識から」という。

石毛さんは、地元の長野（百二十市町村）の例をひき、家庭奉仕員（ホームヘルパー）零の町村が八つ、一人のところが二十三。四分の一が一人以下。これでは在宅福祉などできないという。イギリスのガイドライン（北欧よりも下）並でも、ヘルパーは十五万五千人いるのに日本の現状は一万七千人しかない。また、福祉を地方で決める自主性は零である。もっと地方に権限をもたせるべきだ。緊急にやるべきことは、市民の側に〝緊急社会サービスプラン〟をつくることと訴えた。

このあと会場から意見続出。暉峻さんの例にもとりあげられた東京荒川区の人。生保しめつけのおかげで六十二年度予算五六〇億のうち三〇億もあまってしまった。うち民生費が二〇億とか。福祉制度の根幹である生活保護制度がゆらいでいる。福祉はどうあるべきか考え直されねば。

住宅の不備を訴える声。六十五歳定年にするなら六十五歳まで働ける社会にしてほしい。税金は高くていい、払ったものがかえってくれば――。

とにかく一致していたのは、日本の現状は福祉などとよべない状態であること。財政を福祉型にするため、社会党はがんばれということ。

今回だけでなく、各地で組織的にこんな会を開けという意見も出た。

こうした意見をふまえてのまとめとして、石毛さんは「現在では、国が全部を決めて下におろし、それを地方自治体が唯々諾々とやる。もっと自治体の役割、権限を多くしないとダメ。

全国民が人権感覚をもつよう、社会党は国レベルでメスを入れてほしい」。大熊さんは「デンマーク並みの福祉をすると毎年三兆五千億円いる。大金のように思えるが、松下氏と堤義明氏の資産をあわせると三兆五千億円、二人の資産でまかなえるほどの額だ。日本は〝まず弱肉強食、反福祉の方に向っている。この現実を放っておいていいのか」

岡本さんは、統計のスライドを見せながら日本の高齢者の自殺が多いことを指摘、「実は老人の自殺率の高さは戦前からで、家族制度が老人を守らなかったことがはっきりしている。デンマークの福祉は一九六〇年から三十年ほどでできた。金の余っている日本でできないことはない」

暉峻さんは、防衛費のみ突出の日本の行き方を批判、また、今の社会保障も縮少し、民間の保険にもって行く〝アメリカ型〟福祉にした政府の意向を明らかにし、「皆さんの意見はまだ甘すぎるくらいよ。現在の政策学〟にかかっている。

岡本祐三氏は、寝たり切り老人の訪問介護の現実をスライドで見せながら、「寝たきり老人ではなくて、〝寝かせきり老人〟。寝たきり老人はケアの少なさがつくった」と断言する。

大熊氏の提言もスライドで実像つき。日本の老人病棟の悲しい現状。〝鉄格子のはまった病院、おむつを外されると困ると身体をしばられ、寝返りもできない老人たち……。それと対照的なデンマークのケアつき住宅。北欧では〝寝たきり老人〟がほとんどいない。いい介護をすれば寝たきりにならないという。日本とデンマークの、ともに人口約二万人、六十五歳以上の高齢者二千人の町の比較。訪問ヘルパー＝デンマーク百十人、日本三人。訪問看護婦＝デンマーク十五・五人（日本一人）、老人ホーム職員）、特養老人ホーム＝デンマーク個室百二十六室、日本百三十床（ほとんど雑居、入居者中町民は三分の一弱）。

大熊氏は「まずこの現状を認識すること。改革は認識から」という。

石毛さんは、地元の長野（百二十市町村）の例をひき、家庭奉仕員（ホームヘルパー）零の町村が八つ、一人のところが二十三。四分の一が一人以下。これでは在宅福祉などできないという。イギリスのガイドライン（北欧よりも下）並でも、ヘルパーは十五万五千人いるのに日本の現状は一万七千人しかない。また、福祉を地方で決める自主性は零である。もっと地方に権限をもたせるべきだ。緊急にやるべきことは、市民の側に〝緊急社会サービスプラン〟をつくることと訴えた。

このあと会場から意見続出。暉峻さんの例にもとりあげられた東京荒川区の人。生保しめつけのおかげで六十二年度予算五六〇億のうち三〇億もあまってしまった。うち民生費が二〇億とか。福祉制度の根幹である生活保護制度がゆらいでいる。福祉はどうあるべきか考え直されねば。

住宅の不備を訴える声。六十五歳定年にするなら六十五歳まで働ける社会にしてほしい。税金は高くていい、払ったものがかえってくれば――。

とにかく一致していたのは、日本の現状は福祉などとよべない状態であること。財政を福祉型にするため、社会党はがんばれということ。

今回だけでなく、各地で組織的にこんな会を開けという意見も出た。

こうした意見をふまえてのまとめとして、石毛さんは「現在では、国が全部を決めて下におろし、それを地方自治体が唯々諾々とやる。もっと自治体の役割、権限を多くしないとダメ。

全国民が人権感覚をもつよう、社会党は国レベルでメスを入れてほしい」。大熊さんは「デンマーク並みの福祉をすると毎年三兆五千億円いる。大金のように思えるが、松下氏と堤義明氏の資産をあわせると三兆五千億円、二人の資産でまかなえるほどの額だ。日本は〝まず弱肉強食、反福祉の方に向っている。この現実を放っておいていいのか」

岡本さんは、統計のスライドを見せながら日本の高齢者の自殺が多いことを指摘、「実は老人の自殺率の高さは戦前からで、家族制度が老人を守らなかったことがはっきりしている。デンマークの福祉は一九六〇年から三十年ほどでできた。金の余っている日本でできないことはない」

暉峻さんは、防衛費のみ突出の日本の行き方を批判、また、今の社会保障も縮少し、民間の保険にもって行く〝アメリカ型〟福祉にした政府の意向を明らかにし、「皆さんの意見はまだ甘すぎるくらいよ。現在の政策学〟にかかっている。

岡本祐三氏は、寝たり切り老人の訪問介護の現実をスライドで見せながら、「寝たきり老人ではなくて、〝寝かせきり老人〟。寝たきり老人はケアの少なさがつくった」と断言する。

大熊氏の提言もスライドで実像つき。日本の老人病棟の悲しい現状。〝鉄格子のはまった病院、おむつを外されると困ると身体をしばられ、寝返りもできない老人たち……。それと対照的なデンマークのケアつき住宅。北欧では〝寝たきり老人〟がほとんどいない。いい介護をすれば寝たきりにならないという。日本とデンマークの、ともに人口約二万人、六十五歳以上の高齢者二千人の町の比較。訪問ヘルパー＝デンマーク百十人、日本三人。訪問看護婦＝デンマーク十五・五人（日本一人）、老人ホーム職員）、特養老人ホーム＝デンマーク個室百二十六室、日本百三十床（ほとんど雑居、入居者中町民は三分の一弱）。

大熊氏は「まずこの現状を認識すること。改革は認識から」という。

石毛さんは、地元の長野（百二十市町村）の例をひき、家庭奉仕員（ホームヘルパー）零の町村が八つ、一人のところが二十三。四分の一が一人以下。これでは在宅福祉などできないという。イギリスのガイドライン（北欧よりも下）並でも、ヘルパーは十五万五千人いるのに日本の現状は一万七千人しかない。また、福祉を地方で決める自主性は零である。もっと地方に権限をもたせるべきだ。緊急にやるべきことは、市民の側に〝緊急社会サービスプラン〟をつくることと訴えた。

このあと会場から意見続出。暉峻さんの例にもとりあげられた東京荒川区の人。生保しめつけのおかげで六十二年度予算五六〇億のうち三〇億もあまってしまった。うち民生費が二〇億とか。福祉制度の根幹である生活保護制度がゆらいでいる。福祉はどうあるべきか考え直されねば。

住宅の不備を訴える声。六十五歳定年にするなら六十五歳まで働ける社会にしてほしい。税金は高くていい、払ったものがかえってくれば――。

とにかく一致していたのは、日本の現状は福祉などとよべない状態であること。財政を福祉型にするため、社会党はがんばれということ。

今回だけでなく、各地で組織的にこんな会を開けという意見も出た。

こうした意見をふまえてのまとめとして、石毛さんは「現在では、国が全部を決めて下におろし、それを地方自治体が唯々諾々とやる。もっと自治体の役割、権限を多くしないとダメ。

全国民が人権感覚をもつよう、社会党は国レベルでメスを入れてほしい」。大熊さんは「デンマーク並みの福祉をすると毎年三兆五千億円いる。大金のように思えるが、松下氏と堤義明氏の資産をあわせると三兆五千億円、二人の資産でまかなえるほどの額だ。日本は〝まず弱肉強食、反福祉の方に向っている。この現実を放っておいていいのか」

岡本さんは、統計のスライドを見せながら日本の高齢者の自殺が多いことを指摘、「実は老人の自殺率の高さは戦前からで、家族制度が老人を守らなかったことがはっきりしている。デンマークの福祉は一九六〇年から三十年ほどでできた。金の余っている日本でできないことはない」

暉峻さんは、防衛費のみ突出の日本の行き方を批判、また、今の社会保障も縮少し、民間の保険にもって行く〝アメリカ型〟福祉にした政府の意向を明らかにし、「皆さんの意見はまだ甘すぎるくらいよ。現在の政策学〟にかかっている。

土井たか子社会党委員長に政策を提言

政治改革は女性の手で

参院選に向けて熱気高まる集会

夏の参院選に向け風雲急のこのごろ。こんどこそ、汚職がらみの政治家をこらしめよう、弱者のための政治に、潮流を変えようと、はげます会がさかんに行われている。

三月二十四日には参院議員久保田真苗さんを励ます会が東京・市ケ谷の私学会館で、三十一日には社会党から全国区で立候補することが決っている清水澄子さんを励ますつどいが東京・四谷の主婦会館で開かれた。ともに、会場は女性たちで超満員。政治の改革をやらなければ、の熱気がみちあふれていた。

久保田さんは労働省から婦人問題担当室長、国連の婦人の地位向上部長からの政界入りという国際派。清水さんは福井県県庁評書記から田中寿美子前参院議員の秘書、日本婦人会議の事務局長、議長と覚人派。肌あいはちがうが、ともに女性の候補として全国区からのぞむ。参加した大勢の女性たちから、出席の少数の男性に、「全国区の候補の順番をよく見ていますよ」女性を相続にしないで。男女を交互に並べてほしい」と厳しい注文が相ついでいた。

清水澄子さん

久保田真苗さん

藤田たきさんも元気に参加

久保田真苗さんの会には津田塾時代の恩師藤田たきさんも参加、93歳とは信じられぬ若々しい声で久保田さんの人となりを語った

清水澄子さんを励ますつどい

久保田真苗さんを励ます集会

★☆前川さんは「語部」の活動、本職の先生の仕事の合間に、反核写真展を開き、原爆忌にたった一人で反核座りこみをするなど、日々これ〝平和運動〟であった。沖縄一坪反戦地主、泊原発訴訟原告団のひとりでもある。まだ定年まで二年あるのに、この三月で退職。運動に全力投球とのことで、北海道・静内町の自宅内に平和文庫を建設した。三千冊にのぼる本、資料、ビデオなどを一人でも多くの人に見せるという。

☆★☆元教師の方で、現職のとき、広島への修学旅行の実践などで、原爆、平和の問題に熱心になり、今も自分でミニコミを出しつづけている人を多く知っている。八王子市の田中憲助さん、東京・葛飾区の石川逸子さん、江口保さんら。江口さんは年の半分は広島に住み、広島修学旅行を助ける（より充実させる）アドバイザー活動をしている。田中さん、石川さんのミニコミは原爆の証言の記録としても貴重なもので、丹念に歩き、話を聞きとっている。ミニコミは作るだけでも大変だが、発送の手間や郵送費、ちょっとの思いつきでできることではない。こうした真摯な活動が被爆者でない（江口さんだけは長崎の被爆者だが）方々の手で行われていることに、ただ脱帽するだけである。

★☆★殺されたものは蘇らないから／私たちになにができよう／ただ　心に刻み　祈るだけ／そして伝えるだけ＝石川逸子さんの詩から。

海外通信

国連組織「インストロウ」

田中由美子の国連だより

⑩

「地球時代」の女性ネットワークを目指して

エスカップの女性と開発プログラムの活動は主にアジア太平洋地域に限られるが、地球的規模で女性と開発プログラムを実施している国連機関に「婦人の向上のための国際調査訓練研修所」（略してインストロウ）がある。

インストロウは、前に紹介した国連婦人の十年」を契機に設立された比較的新しい機関である。正式には一九七五年の国連総会、次いで一九七六年の国連経済社会理事会の決議に基づき発足した。一九八一年には管理理事会が召集されたが、本部がカリブ海のドミニカ共和国に設立され、実際に活動開始したのは一九八三年。

インストロウの活動計画は、毎年二月頃に開かれる管理理事会で作成される。理事会は加盟国政府により推薦され、国連経済社会理事会の承認を得た十一名の理事で運営される。理事の任期は原則としては三年で、日本からは高橋展子前デンマーク大使が理事を務めたことがある。

理事会にはその他、国連事務総長（代理）、事務局長、議長と覚人派。肌あいはちがうが、ともに女性の候補として全国区からのぞむ。参加した大勢の女性たちから、出席の少数の男性に、「全国区の候補の順番をよく見ていますよ」女性を相続にしないで。男女を交互に並べてほしい」と厳しい注文が相ついでいた。

★☆★前川さんは「語部」の活動、本職の先生の仕事の合間に、反核写真展を開き、原爆忌にたった一人で反核座りこみをするなど、日々これ〝平和運動〟であった。沖縄一坪反戦地主、泊原発訴訟原告団のひとりでもある。まだ定年まで二年あるのに、この三月で退職。運動に全力投球とのことで、北海道・静内町の自宅内に平和文庫を建設した。三千冊にのぼる本、資料、ビデオなどを一人でも多くの人に見せるという。

☆★☆元教師の方で、現職のとき、広島への修学旅行の実践などで、原爆、平和の問題に熱心になり、今も自分でミニコミを出しつづけている人を多く知っている。八王子市の田中憲助さん、東京・葛飾区の石川逸子さん、江口保さんら。江口さんは年の半分は広島に住み、広島修学旅行を助ける（より充実させる）アドバイザー活動をしている。田中さん、石川さんのミニコミは原爆の証言の記録としても貴重なもので、丹念に歩き、話を聞きとっている。ミニコミは作るだけでも大変だが、発送の手間や郵送費、ちょっとの思いつきでできることではない。こうした真摯な活動が被爆者でない（江口さんだけは長崎の被爆者だが）方々の手で行われていることに、ただ脱帽するだけである。

★☆★殺されたものは蘇らないから／私たちになにができよう／ただ　心に刻み　祈るだけ／そして伝えるだけ＝石川逸子さんの詩から。

「地球時代」の女性ネットワークを目指して

インストロウの所長、国連地域委員会の代表、ドミニカ共和国政府の代表が参加する。

☆目的と機能

インストロウの主な目的は、研究調査、訓練、情報交換、ネットワーク作り、技術協力などを通じて女性の開発に果たす役割を強化し、女性の地位向上に務めることである。協力の対象には、政府、民間団体、他の国際機関が含まれる。前述の国連組織ユニフェムも地球的規模で活動しているが、根本的な相違は、ユニフェムは「基金」、つまり資金をプロジェクトに供与する融資機関のような役割を果すのに対し、インストロウはリサーチや訓練計画を自ら作成し、他の組織と協力してその実施にあたる研究、研修所の機能を持つ。

☆活動の内容

活動プログラムは主に三つの分野から成る。(1)女性に関する指標と統計の改善、(2)開発計画への女性の参加に関する分析・調査、および訓練、(3)特定の分野における女性の役割、協同組合の組織化、銀行の融資やローンの条件の改善などに関するプログラムを実施してきた。

(3)に関しては、女性の労働を軽減し、生活条件を改善するための調査や、適正技術の開発、訓練、共同体の組織化に努めてきた（例えば、料理用ストーブの改善、バイオマス、太陽熱エネルギー、安全な飲料水の確保など）。

特に、安全な飲料水と衛生設備およびサービスの欠除は途上国にとって最も深刻な問題であり、そのために毎年四百万人の子供の命が奪われているといわれている。インストロウは、一九八四年にカイロでセミナーを開催したのを初めとし、アフリカを中心に訓練セミナーを実施し、訓練マニュアルを作成した。

☆インストロウとエスカップ

エスカップはインストロウの管理委員会に積極的に参加し、活動計画の作成に協力してきた。また、国家計画への女性の参加を強化するためチェックリスト作りに関するバングラデシュのセミナーの協賛、および今年の一月には、エスカップ会議場で、安全な飲料水と衛生サービスに関する訓練セミナーを共同で開催した。また、国家計画への女性の参加を強化するためチェックリスト作りに関するバングラデシュのセミナーの協賛、および今年の一月には、エスカップ会議場で、安全な飲料水と衛生サービスに関する訓練セミナーを共同で開催。相互のニュースレターに載せるための記事の交換も定期的に行なっている。

エスカップは独自の活動プログラムに基づいて開発協力を実施しているが、今後、インストロウとの協力体制が強化されるに伴い、より幅を持たせた活動プログラムの作成が必要になってくると思われる。

また、インストロウの活動分野は多岐わたるので、エスカップの他の部門、例えば、農業部、天然資源部、統計部などとの協力が強化され、各部門での女性に関するプログラム強化を促す良い機会が生まれると思われる。インストロウと協力を強めることで、エスカップの女性に関して保守的な部門が活性化されることを大いに期待したいと思う。

インストロウの正式名称と住所は次の通り。

United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women - INSTRAW. P. O. Box 21747, Santo Domingo, Dominican Republic.

婦人手帳

☆★☆北海道の浦河一中の先生だった前川雅美さんから「語部（かたりべ）」が送られて来た。前川さんは、一九八一年から ガリ版刷りの〝平和通信〟『語部』を、ほとんど毎日出しつづけている。遠方の私たちには、毎日送るのが大変、ということで、百号たまると製本し一冊にまとめて下さる。この合本には、毎号の「語部」の記事に関係した新聞の切り抜きや資料のコピーも入っており、非常に手のこんだものである。何よりも毎日、休みなく、戦争や平和に関することを書きつづけるということの大変さを思うと、ただ感嘆するばかりである。

毎日グラフ別冊
机上だけでなく、歩きながらも読める古代史・古典へ…撮り下ろしのカラー写真で、目で見る歴史、旅への誘い。
古典を歩く――第3巻　発売!!
とはずがたり
一人の女性のあからさまな告白の記　定価1550円（税込み）
何と衝撃的な中世の愛と旅！
■巻一　愛の初舞台　巻二　迷路の中で　巻三　密室の外へ　巻四　東国への旅　巻五　西国への旅■「とはずがたり」の世界…松本寧至■「とはずがたり」の鮮烈さ…大原富枝■とはずがたり詳細地図■ゆかりの地総ガイド……ほか
毎日新聞社
東京都千代田区一ツ橋1-1　振替東京4-56534

農文協
新刊と話題の書！
関千枝子（全国婦人新聞編集長）著
もう一つの老後　●1300円（税別）
「婦人民主新聞」評●本書の…福祉の残酷な切り捨てで…餓死した母子家庭、Iさんの話だが、何度読み返しても悲しくて、悔しくて、体中の血が駆けまわる。
農文協文化部編　お店屋さんから20の提案
街角のショッピングサイエンス　●1100円（税別）
「婦人民主新聞」評●私たちも街でこういうお店をみつけていこう、と勇気づけられる本。
阪本和子著　へっぴり腰・思案投首国際市民運動体験
なんでアムネスティ？　●1300円（税別）
水口憲哉著　反原発論
海と魚と原子力発電所　●1400円（税別）
増尾　清著　好評の前著『食品添加物とつきあう法』の続編
不安な食品とのつきあい法　●1200円（税別）
橋本郁三著　花料理を160種も
花料理はエレガントなぜいたく　●1200円（税別）
東京都港区赤坂7-6／☎(585)1141

ふかい内容をゆかいに楽しく伝える
誕生！
「たくさんのふしぎ傑作集」
小学校中学年向き　26×20cm　40ページ
定価各1030円（税込み）
いっぽんの鉛筆のむこうに　谷川俊太郎文／坂井信彦ほか写真／堀内誠一絵
草や木のまじゅつ　山崎青樹文・絵／石曽根史行ほか写真
ことばをおぼえたチンパンジー　松沢哲郎文／鈴内正幸絵
バッタのオリンピック　日浦勇案／宮武頼夫文／中西章絵
夢ってなんだろう　村瀬学文／杉浦範茂絵

福音館書店
〒113 東京都文京区本駒込6-6-3 ☎03-942-1226

季刊フェミナ femina
WOMEN'S ISSUE
学研 販売局
〒145 東京都大田区上池台4-40-5
TEL東京(03)726-8164
［編集委員］
大庭みな子
瀬戸内寂聴
田辺聖子
第1回フェミナ賞発表！
井上荒野わたしのヌレエフ
江國香織409ラドクリフ
木村英代オー　フロイデ
●エッセイ
上野千鶴子　黒柳徹子　島津佑子　田辺園子
俵　万智　中山千夏　吉本ばなな　新井　満ほか
●作品
稲葉真弓　バラの彷徨　野坂麻央　アトリエの鍵
［第2回　フェミナ賞作品募集］特賞賞金100万円
★詳細は本誌をご覧ください。　★創刊2号は、7月発売です。
女の文芸誌　フェミナ4/14創刊　定価980円（税込）●A5変型判・360ページ

71歳・米国で女性学を学ぶ　その④

「フェミニズムの諸潮流」　斎藤　道子

女性の歴史についても、講義はフェミニズム抜きで入った。

一口にフェミニズムといっても、いろいろな種類のフェミニズム――自由主義フェミニズム、ラディカル・フェミニズム、社会主義フェミニズム――があるそうだ。これでは、どこに焦点をあてて、何を学ぶのか、分からない。

そこで、フェミニズムは、この男女の出発点である歴史をたどっていかねばならないのだ、と思った。

ベティ・フリーダンの「女らしさの神話」は、日本語訳もフェミニズムの古典といわれているが、これは、女性の歴史の中で、男性の女性支配の構造をとらえ、女性の解放の方向を探ろうとしたものだ。

ラディカル・フェミニズムは、男性支配の構造を変えようとするものだ。

ラディカル・フェミニズムは、民間運動、学生運動に参加した女性たちの中から生まれた、新しい女性の考え方だ。その多くは、1960年代の自由主義的な女性の出身者であり、学歴も高い。社会的にも恵まれた女性たちであった。しかし、運動の中心的な担い手は、男性の運動に比べて、圧倒的に女性が多かった。

この運動は、男性の運動に比べて、組織的にも、理論的にも、はるかに進んでいた。

ラディカル・フェミニズムは、「スポーツ・ドゥー・イット」という言葉があるように、行動の人たちだ。

このスピードにとまどいながらも、ついていこうと努力した。

ラディカル・フェミニズムは、男性支配の構造を変えようとするものだ。

この構造は、男女の性差別意識の問題であり、その根底にあるものは、男の女に対する所有物であるという考え方だ。

この考え方は、男性支配の社会の中で、男女ともに、無意識のうちに身についてしまっている。

この意識を変えるためには、女性たちが、自分の体験を通して、自分の問題として、自分の言葉で、語り合うことが必要だ。

この語り合いを、「意識覚醒」（コンシャスネス・レイジング）という。

この意識覚醒の方法として、「個人的なことは政治的なこと」というスローガンがある。

これは、自分の個人的な問題は、実は、社会的な問題であるということだ。

例えば、夫婦げんかは、個人的なことだが、これは、男女の社会的な関係の問題であるということだ

公共の場所での禁煙署名を呼びかける人たち

世論盛り上げ成功
各地で多彩な運動を展開

四月一日から七日までの「禁煙週間」期間中、禁煙・嫌煙を訴える各市民団体は、世論をもり上げようと、全国各地でさまざまなイベントを行った。

初日の一日東京では、多摩・タバコから健康を守る会」（代表・藤生良博さん）が主催し、JR三鷹北口駅前で「JR駅など公共の場所の禁煙化と、都庁・新庁舎の分煙化」を求める署名活動を行い、通行人に「公共の場所をきれいな空気にしましょう」と呼びかけた。

「私も吸うが、公共の場所での禁煙には大賛成」など、呼びかけに共鳴する人は多く、この日はかなりの署名が集まった。また「ノドが弱いから…」と進んで署名する女性の姿も見られた。

このほか、クリーン・エア・コンサート」（二日・小倉　八日・長崎）、「禁煙アピール・デモンストレーション」（二日・鹿児島）、「世界の禁煙ポスター展」（二十七日・北海道庁ロビー）、「禁煙ポスターコンテスト」（二～三日・大阪）、「職場と喫煙シンポジウム」（六日・東京）など、多彩な催しが、各地で行われた。

また、「喫煙と健康女性会議」が催される「未成年や若い女性が雰囲気で吸い始め、依存症になることが多い」「医者に禁煙を言われても急にやめられない妊婦が増えており、憂慮すべき事態だ」など現状を説明した上で、「未成年や若い女性をターゲットに、カッコよさやファッション感覚で売り込むタバコ広告を規制できないものか。特に若者に与える影響が大きい、ラジオ、テレビのタバコCMは法律で禁止してほしい」自販機の自しゅくを望む」。若い女性向きには「未熟児・妊婦障害を起こす危険性があることを、広告、パッケージに明示してほしい」など要請した。

これに対し、太田政務次官は「全体の風潮として喫煙者は減っており、キャンペーンは成果をあげているのではないか。一方で、広告は増えているようだ。吹わない人の迷惑と、新しくエントリーする人たちをどうするのかの二点が問題だと思う。しかしタバコ産業で食べている人もいるので、今後は第係結九々意見も聞いて徐々にとりあげていきたい」と前向きな姿勢を示した。

また「タバコ税収入が減ると、国の予算に影響するのか」という質問には一兆円では、それはない」と回答。「みなさんの意見はごもっとも。全体の流れがそちらへ向っているので、運動がもっと進むとそういうことになるだろう」と語った。

喫煙と健康女性会議の仲野暢子さんは「キャンペーンの成果など、初めて正面でとらえてくれたと思う。同行のいわさ恵美議員に〝どういう方法がいいのか〟と具体的にたずねるなど、積極的な印象を受けた」と言う。

この日は、大蔵大臣とたばこ事業等審議会あて、二通の「要望書」を提出した。

「国後慕情」に寄せる希望
北方領土の返還を
作詞の寺田さん　歌手の三浦さん　熱い思いこめて

「ガンバろうね！」と握手する三浦さん（右）と寺田さん

三月二十五日に、キングレコードから発売された『国後慕情』（寺田ゆき作詞・伊藤英一作曲、かみ・たかし編曲）のレコードの一節だ。

作詞をした寺田ゆきさんは、小学校二年生まで国後（くなしり）で生活した。

国後の冬は厳しく長い。が、子供たちは、スキーや雪ソリ、かまくらなどを作り、雪や氷を相手に遊び方を作り出して楽しんだ。春になると家の前の草原に草花が咲き乱れ、花とたわむれて一日を過した。夏になると海岸に出て、海草や貝を採ったり、小魚を追って遊んだ。平和で、豊かな暮らしだった。戦争が始っても、村の若者や父親が出兵したという変化があったくらいで、戦争の実感はほとんどなかった。それが、敗戦と同時に侵入して来たソ連軍によって、一変してしまったのだ。

ソ連軍から追われて、内地に帰ろうとした村長が射殺された。若い女性たちは兵士に犯されるのを防ぐために、髪は断髪し顔に泥ズミをぬって押入れにかくれて震えていた。寺田さんも草原に花を取りに行って、実弾を射られたことがある。幸い耳元をかすめていっただけで済んだが、恐くて、泣きながら草の中をはって帰ったら、祖母が「今までとは違うんだから、一人で外に出てはいけないよ」と涙をふいてくれた。その祖母も、国後の日本人が捕虜として樺太の北真岡の収容所に連れて行かれた日の夜、急性肺炎でこんなった。〝おばあちゃん起きて、起きて〟と泣き叫んでいた自分は覚えているが、祖母の遺体がどう処理されたのか、誰も知らない。父親も戦争が終っても帰って来なかった。

「四十数年もたつと苦しかったことや悲しかったことはだんだん浄化されて、美しく楽しかったことだけが残っています。

国後に帰ってみたいという思いと、帰れないだろうという思いが心の中で交差しています。他の引揚者の方もそうだと思います。そういう思いを詞にしたのは、北方領土への思いを残している人達が沢山いることを忘れて欲しくないからです。いまだに残して来たお墓にすらお参り出来ない状態なのですから…」と、涙ぐみながら語る寺田さん。

へまぶたとじれば　また浮ぶ
雪にうもれた　浮印内
ぬくもりいとしい　父さんの
酔えば唄った　演歌がしみて
夢にはるかに　国後水野

寺田さんを始め、国後、択捉、歯舞群島、色丹などから引揚げて来た人達の、ふる里に寄せる想いを切せつと歌いあげるのは三浦舞子さんだ。一九六一年生まれで、本人はもちろん親でさえ、あまり戦争を知らない世代だ。

「国後に行ったことはありませんが、父は北海道生まれ、私も北国の生れ（岩手）ですから情緒的に、相通じるものがあります」と瞳を輝やかせて言う。

彼女の持つ雰囲気は、ロックやポップスが似合う、いわば現代的で、エキゾチックでさえあるが、なぜか子供の頃から演歌が大好き。アイドル歌手を追っかけてワイワイ、キャーキャーいう同年代の友達から〝変んな子〟という目で見られていた。しかし、好きなものは好きと、演歌支持はやめない、芯の強さを持っている。

「日本人の心情にしみじみ訴える、そんな歌や生き方が好き」

酒も日本酒で居酒屋がいい、いまどきの若者にしてはめずらしいことを言う。

『国後慕情』の曲をもらってから、北方領土に関する新聞記事の切り抜きや本を読み始めた。

「それまで私も無関心でしたが、若い人達に、あそこは日本の領土だったんだということを知ってもらいたいと思います。そのためにも絶対に歌をヒットさせたい」

彼女にとってこの曲は、キャニオンレコードからキングレコード移籍の第一弾であり、歌手生活五年という大きな区切りの曲でもある。

「芸能界に入ることは家族全員が反対し、半分家出同様で飛び出したのですから、ここ一発という思いがありますし、また私のために一生懸命にやって下さるスタッフの方のためにもヒットさせて、恩返しをしたい」としんみり。

『国後慕情』は、彼女ののびやかな声質、歌唱力の確さに加え、誠実で暖かい彼女の人間味が加わり、聞く者の心のひだをゆすぶる。

三月二十一日、おりしも日ソ外務次官級が話しあう「平和条約交渉に関する常設作業グループ」の初会合が、東京・麻布台の外務省飯倉公館で開かれた。

日本政府は「北方領土返還を実現したのち、平和条約を結ぶ」とし、北方領土が日本固有の領地であることを主張したが、ソ連は「ヤルタ協定によって、北方領土を有る権利を得た。サンフランシスコ条約もこのことを基礎に理解すべきだ」と主張。返還の道のりはまだまだ遠いようだ。

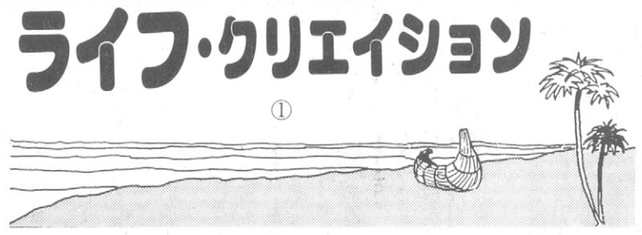
返還される日を千秋の思いで待っている引揚者の人たち。少しでも北に近いように北海道や東北に住んでいるというが、その引揚者の人達と思いをつなげながら、きめの細かいキャンペーンを張っていく。その出発点は、寺田さんが引揚げて来て住んだ宮城県浮島になる。そこには「たった一人、生き残ってくれた家族である兄がいて、兄も歌が好きだから大喜びで応援してくれています」と寺田さん。三浦さんのふる里でもイベントが用意されている。ヒットを出して家族に認めてもらいたいのが、いまの彼女の心境だ。

へ羅臼おろしが　駆ける野に
耐えて人待つ　雪割草
ケムライ岬に　佇めば
見える灯りは　根室の出よ
春はいつの日　国後慕情

信じられる女性パワーに「ぜひ応援をお願いしたい」といっている。

応援連絡先は、ぷろだくしょん藤企画☎03・3415・5850。

ライフ・クリエイション
洗濯のABC　①



素材に合わせること
洗濯剤はきちんと計って

昔にくらべると、ずっと便利になった私たちの生活。でも、多すぎる情報の中で、おぼれそうになっている自分を発見することが多いのではないでしょうか？これまで、いいと思っていたことが、案外、思い違いであったりしたことはありませんか？

そこで、今回からこのコーナーを『ライフ・クリエイション』と名付け、新生活環境を創造する糸口にしたいと思います。生活の中で、疑問に思っていること、素敵なアイディアがあったら、どんどんお便りをお寄せ下さい。皆さんと共に、快適なくらしを考えていきたいと思っています。

＝編集部＝

春の日差しがまぶしくなると、なんとなく、心も体もうきうきとしてきます。冬の間は億くうだった洗濯も、あまり苦にならなくなりました。明るい太陽の光は、カーテンの黒ずんだ汚れや、テーブルクロスのしみを浮き立たせて見せます。「さぁて！」とうでまくりをして、洗濯に取り掛かる前に、これまでの自分の洗濯の方法を、振り返ってみてください。「私は、主婦歴数十年。今更、洗濯のことなんて・・・」と思っていても、案外、ロスがあるものです。けっこう毎日、こまめに洗濯をしているのに、袖口の汚れや、エリの黒ずみが落ちていない、洗濯物にムラができてしまった、毛糸ものの洗濯に失敗してしまったという経験のある人はいませんか？

クリーニング店に出せものを除き、家庭でできる洗濯には、二通りの方法があります。洗濯機洗いと、手洗いです。毛、絹、おしゃれ着などの、手洗いについては後にゆずるとして、今回は、洗濯機での洗濯のABCについて述べてみたいと思います。

まず、洗濯物の品質表示や取り扱い絵表示を確認し、点検・分類してください。ホコリを払い、ポケットの中になにか入っていないか確かめてください。ボタンがとれかかっていたら洗濯の前に縫っておきます。飾りボタンなどははずし、ファスナーやマジックテープは必ず閉じておきます。

洗濯物を、仕分けします。ブラウス、ワイシャツ、ランジェリーなど化学繊維の白物、肌着やシーツなどの綿の白物、ジーンズやどい汚れものといった具合です。使っている洗濯機の水量を確認してください。水量にあわせて、洗濯剤をきちんと計ります（多ければ良いというのではありません）。粉石鹸の場合、四〇度位のお湯で、よく溶かしてから洗濯物をいれます。あわぎれが早いかわりに、石鹸カスが残りやすいので、よくすすぎます。

水の温度は、高いほど洗浄力があがりますが、素材にあわせてください。お風呂の残り湯は、冬でも翌朝二五～三〇度ありますので、冷たい水道水より効果的です。ただし、汚れのひどい時は、使わないほうがよいでしょう。また、ナイロン、ポリエステルなどは、洗濯液の汚れが付きやすいので注意します。

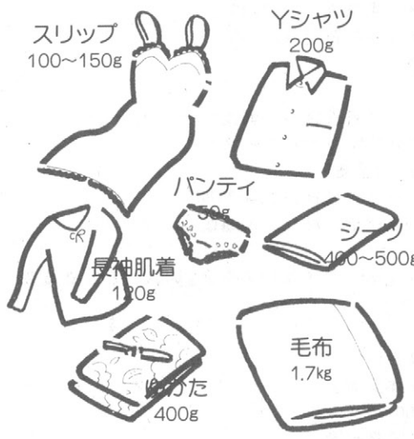
洗濯物の分量は、洗濯液三〇リットルに対して、一～一・二キログラムが適量です。Yシャツ二〇〇グラム、シーツ四〇〇～五〇〇グラム、スリップ一〇〇～一五〇グラム、パンティ五〇グラム、長袖肌着一二〇グラム、ゆかた四〇〇グラム、毛布一・七キログラムというのを、目安としておぼえておけば、便利です。おしゃれ着や、ナイロンのランジェリー、ストッキングなどは、ネットにいれ、洗濯機に付いている、水流調節機能も有効に使いましょう。

洗濯時間は、短めにします。一般的には、七～一〇分。一〇分以上回しても、生地を傷めるだけで、洗浄効果はそれほど変わりません。すすぎの前に一度脱水しましょう。すすぎ時間は、流し水なら五～六分、ためすぎは、三分すすいで、脱水、水をかえて、三分すすぎます。脱水は、素材によって違います。綿・麻一～二分、毛や化学繊維は三〇秒位が適当です。

干す時のポイントは、脱水後、すぐにとりだす、干すまえによくふって、大きなシワをとり、襟、袖口は、叩いたりひっぱったりして、形を整えます。陰干しするもの、形のくずれるものは、特に注意しましょう。

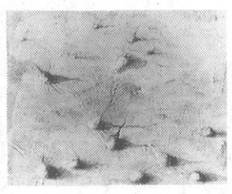
（資料提供・ライオン株式会社）

衣料の重さの目安



てくてく会

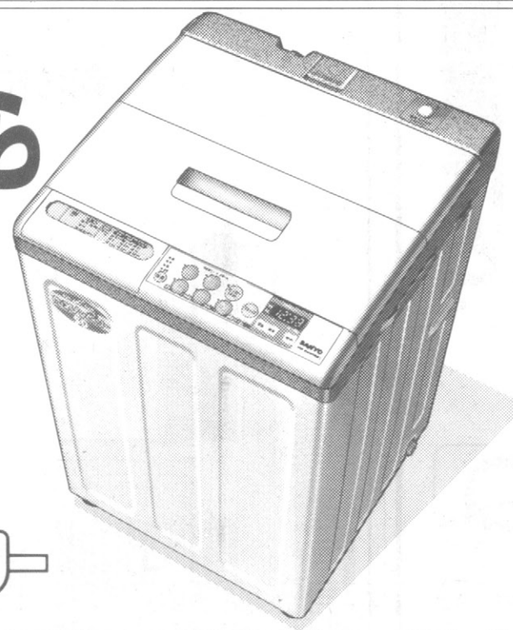
◆「スペインArt Today」バルセーロ、イグレシアス、ムニョス、シシリアー80年代の新鋭たち
会期…4月29日（土）～6月12日（月）※木曜休館　5／4（木・祝）は開館　10時～18時
会場…軽井沢（財）高輪美術館（☎0267・46・2020）
内容…スペインの現代美術を担う新鋭作家を紹介　入場料…一般800円（700円）、大・高生600円（500円）、中・小生400円（300円）（　）内は前売り・団体20名以上料金


バルセーロ・球根の影

できればフジテレビみたいにくらしたい。

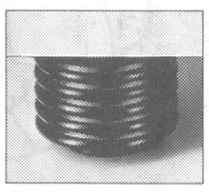
フジテレビ

振動をおさえて、静かだから
朝でも、夜でも
24時間いつでもお洗濯。



ゆれんどりー

そのひみつは、ゆれんどりークッション
ゆれんどりーシステムの秘密は、足もとのゆれんどりークッション。クッションに、振動を吸収する新素材〝ブチルゴム〟を使用し、気になるゆれをおさえました。また、洗濯槽を支える防振用のつり棒の強化や、槽のバランスをとる流体バランスの塩水を増量して、さらに安定性を高めました。

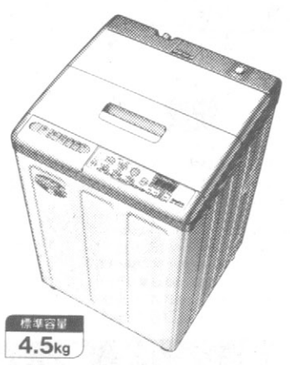


干したい時刻に洗い上げOK。便利な予約タイマー。
たとえば寝る前にセットすれば、朝は干すだけ。特に標準コースよりも静かで、つけおき洗いの効果もある「深夜コース」と一緒に使用すれば便利です。通常は現在時刻を、洗濯中には残時間を表示する、見やすいデジトロン表示です。

大容量 5.0kg
予約タイマーつき
ASW-500TM 標準価格76,300円（税別）
●外形寸法：幅（排水ホースを含む）610×奥行580×高さ890mm●色：サンドベージュ（BE）

サンヨー全自動洗濯機

SANYO



標準容量 4.5kg
予約タイマーつき
ASW-450TM 標準価格68,000円（税別）
●外形寸法：幅（排水ホースを含む）610×奥行580×高さ890mm●色：サンドベージュ（BE）、シティグレー（GR）

●サンヨー全自動洗濯機には保証書がついています。ご購入の際、ご購入年月日、販売店名などの所定事項の記入、及び記載内容をご確認のうえ、お受け取りになり大切に大切に保存してください。　三洋電機株式会社